



住友商事株式会社は、全ての持続可能な開発目標の達成に向けて、世界の持続可能な食料システムへの変革ならびに具体的な行動の推進のために開催される食料システムサミット（FSS：Food Systems Summit）への支持を表明します。

また、世界で様々な食料・農業ビジネスを展開する住友商事グループは、持続可能な食料システムの実現、国連が掲げる5つのテーマ全てに貢献します。

1. 持続可能な食料システムの実現には幅広い社会課題解決に包括的に取り組むことが重要であり、当社グループにおいては、以下の重要社会課題に関する目標を掲げております。
  - 気候変動緩和に向けて、CO2排出量削減と持続可能なエネルギーサイクル推進に取り組みます。
  - 循環経済の実現に向けて、循環型・省資源型の技術・商品への転換、持続可能な天然資源の調達を推進します。
  - 人権尊重を旨とし、『国連ビジネスと人権に関する指導原則』、『住友商事グループ人権方針』の徹底を図ります。
  - 地域社会・経済の発展に向けて、地域の産業発展や雇用創出に貢献します。
  - 生活水準の向上に向けて、社会課題解決に資する高度な生活関連サービスを提供します。
  - 良質な教育の普及に向けて、社会貢献活動に取り組みます。
2. 食料・農業ビジネスでは、1の重要社会課題に関する目標などを踏まえ、以下の具体的な取り組みを進めて参ります。
  - 食料ビジネスでは、環境関連の認証取得や、環境再生型農業を基盤とするビジネスに取り組みます。  
また、食品・農産物の副産物活用や、代替蛋白の需要喚起により、環境との調和、循環経済の実現を目指します。
  - 農業資材ビジネスでは、農薬・肥料などの開発・供給を通じ、農業生産の効率化・安定化および農家の生活水準向上に貢献します。  
また、安全で環境負荷の小さい農業資材・サービスの開発による地球環境保全を考慮した循環・持続型農業の普及を図ります。
  - 畜産用ヘルスケアビジネスでは、畜産分野での食の安全・安心確保、食肉の生産性向上に繋がるワクチンなどの開発・供給を通じ、人々の生活水準向上に貢献します。
  - 精密農業ビジネスでは、新技術の開発・普及を通じ、農作業の自動化・デジタル化による生産プロセスの効率化・安定化を推進し、地域社会・経済の発展や省資源型農業の推進に貢献します。
  - 上記すべてのビジネスの推進において、常に人権を尊重し、サプライチェーンにおける人権課題の把握と適切な対応を図ります。
3. 当社の取り組みは、HPやESGコミュニケーションブックなどを通じて、進捗を開示して参ります。

### 【住友商事グループ 関連情報】

- ・ サステナビリティ経営の高度化 <https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/sustainability/management>
- ・ 住友商事グループ人権方針 <https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/sustainability/csr#02>
- ・ ESGコミュニケーションブック <https://www.sumitomocorp.com/ja/jp/sustainability/report>

